



26116076 横井 葉月 ほっといん 1/6



concept

変化と落ち着きの共存する、名駅東西の架け橋

名駅の課題

- ・東と西が物理的にも雰囲気的にも分離されている
- ・名駅周辺にくつろげる場所がない

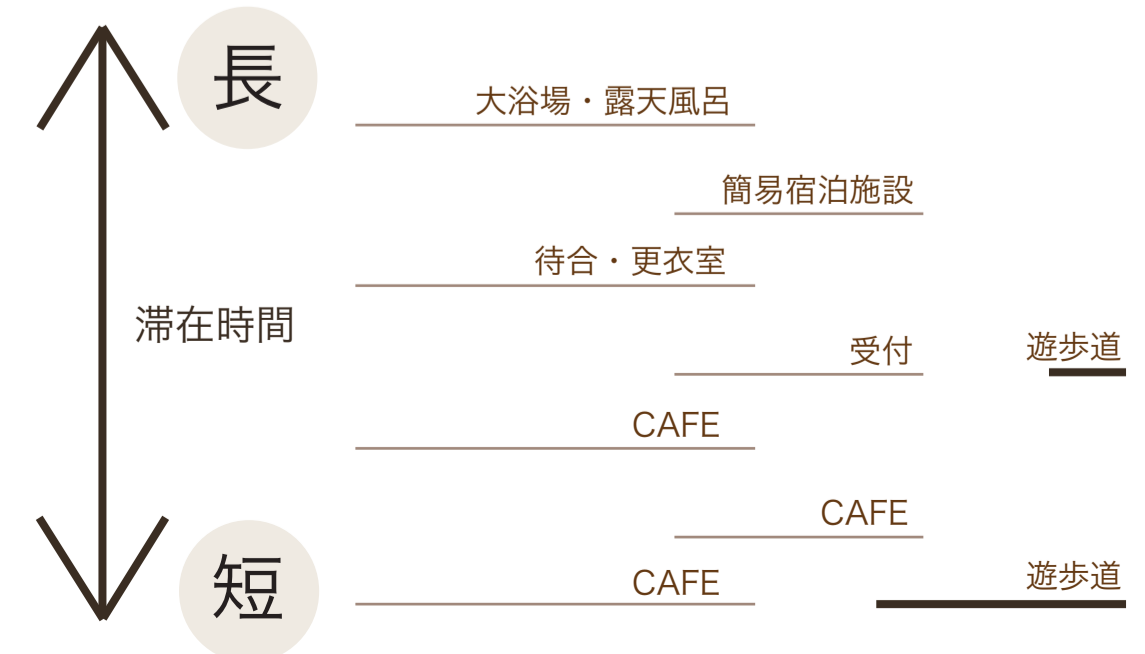
→ 温浴施設を含む遊歩道の提案

ゾーンの分離を明確にすることで変化と落ち着きの共存をはかり、時間に追われる人々のために利用したい場所だけをスムーズに利用できる動線計画を考えた。

- 1日中利用する人が変化する
 - 朝 → 夜行バス帰り
 - 昼 → 観光客
 - 夜 → 仕事帰りの人
 - 夜中 → 夜行バス待ち・終電のない人
- 名古屋中心での夜景が見える露天風呂
 - プライバシーに配慮した大浴場

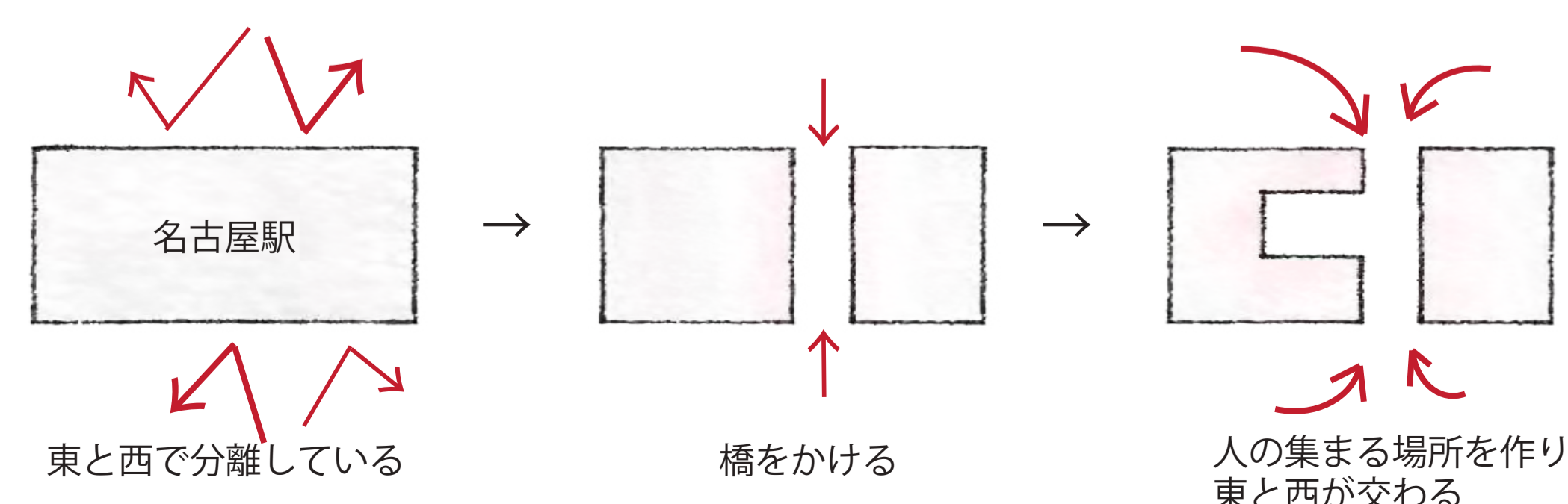
zooning

滞在時間によってゾーニングや家具を考えた。また、CAFEのみ温浴施設のみの利用を可能としたスムーズな動線計画を考えた。



diagram

東西で分離している名古屋駅に高架式の橋をかける。その中央部に人の集まる複合施設を設置することで両側からの人が交わり東西のつながりを生む。

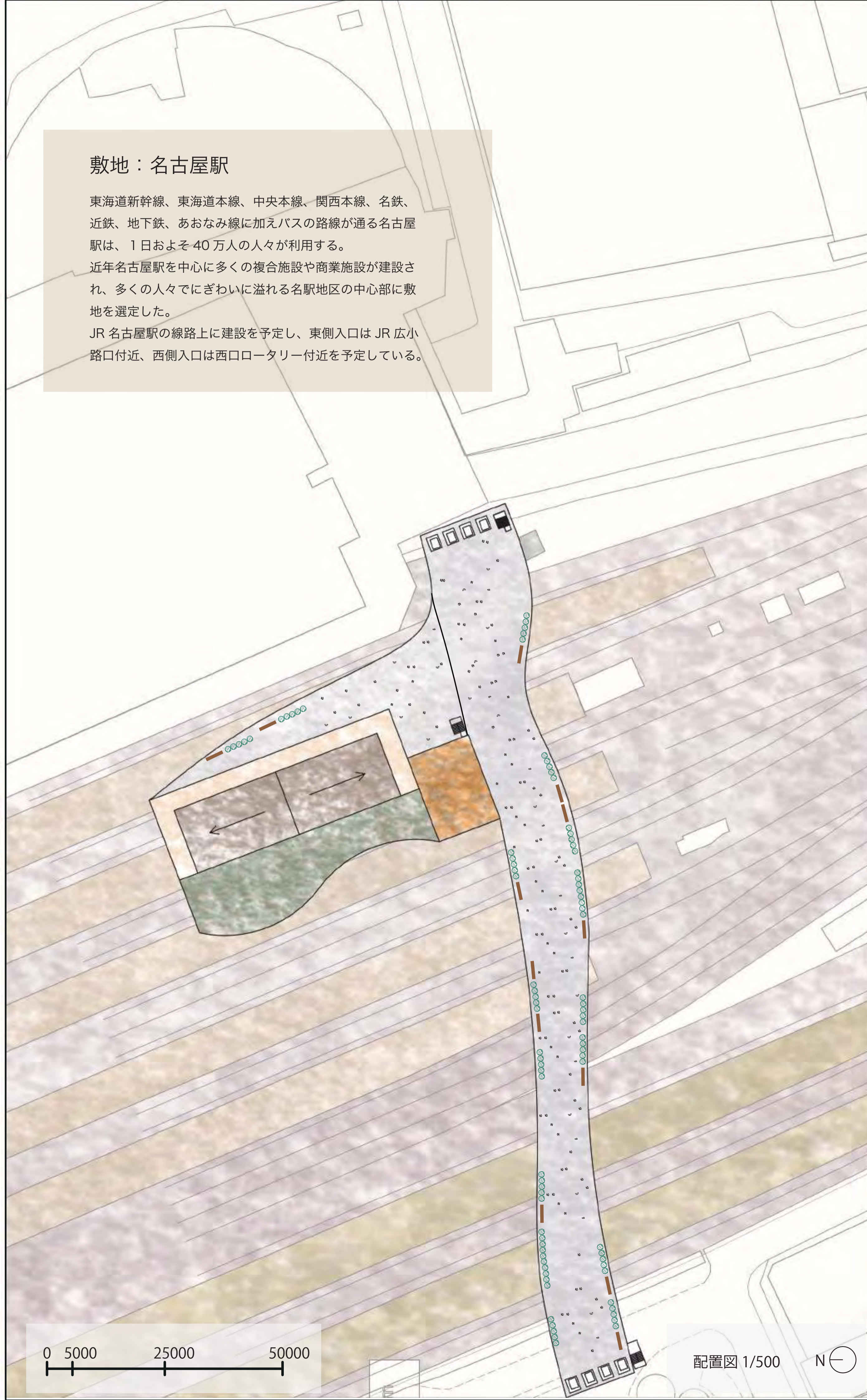


敷地：名古屋駅

東海道新幹線、東海道本線、中央本線、関西本線、名鉄、近鉄、地下鉄、あおなみ線に加えバスの路線が通る名古屋駅は、1日およそ40万人の人々が利用する。

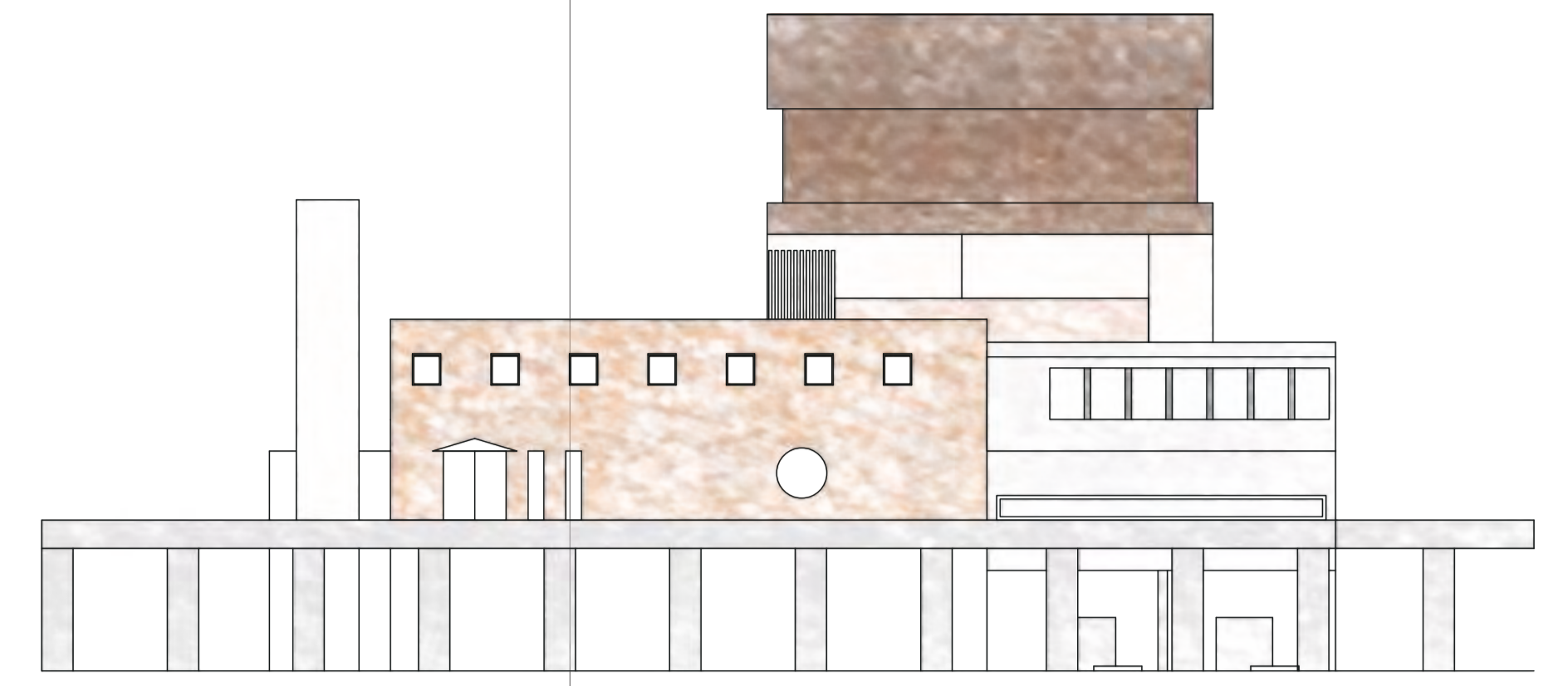
近年名古屋駅を中心に多くの複合施設や商業施設が建設され、多くの人々でにぎわいに溢れる名駅地区の中心部に敷地を選定した。

JR名古屋駅の線路上に建設を予定し、東側入口はJR広小路口付近、西側入口は西口ロータリー付近を予定している。

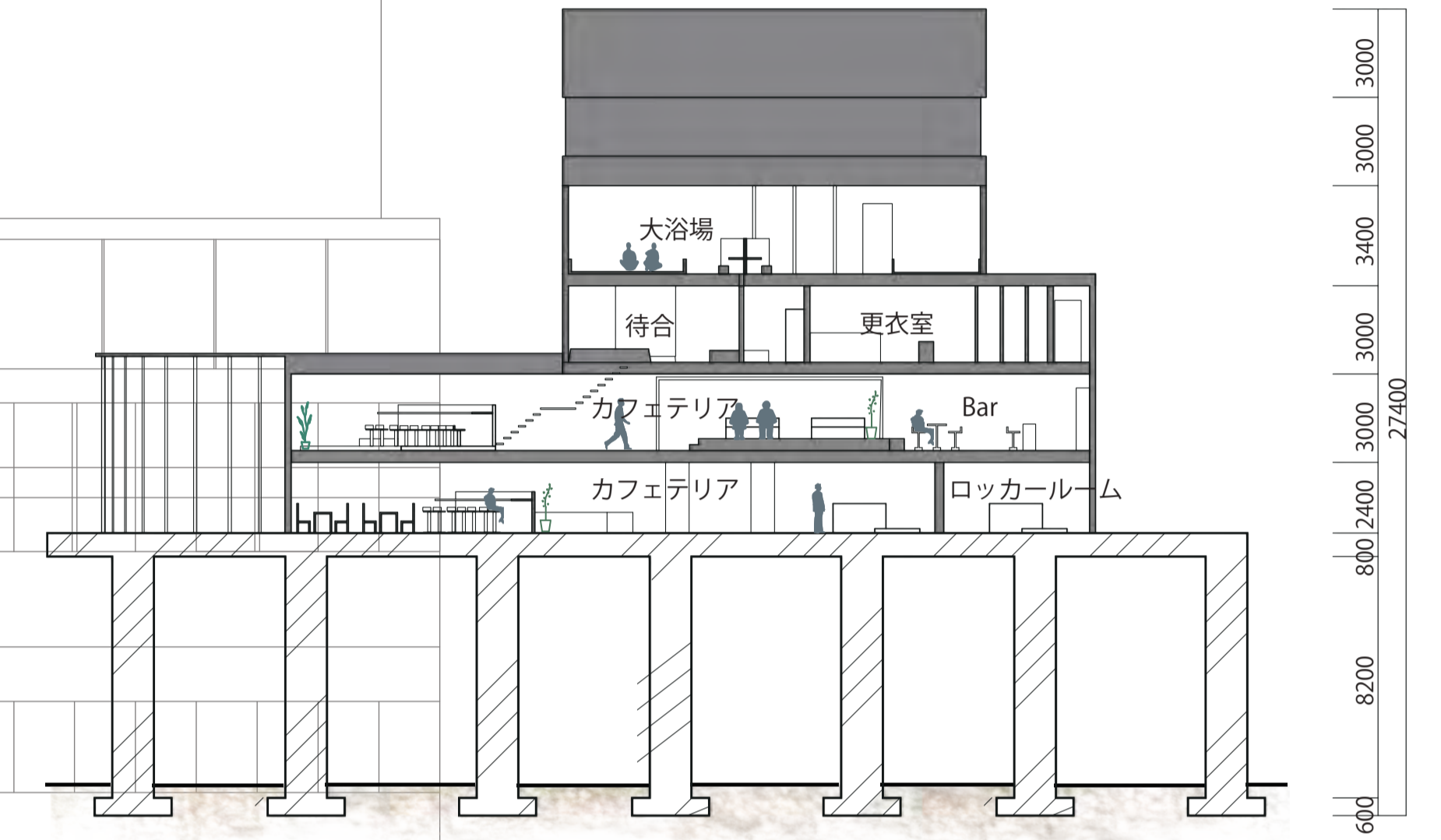


0 5000 25000 50000

配置図 1/500

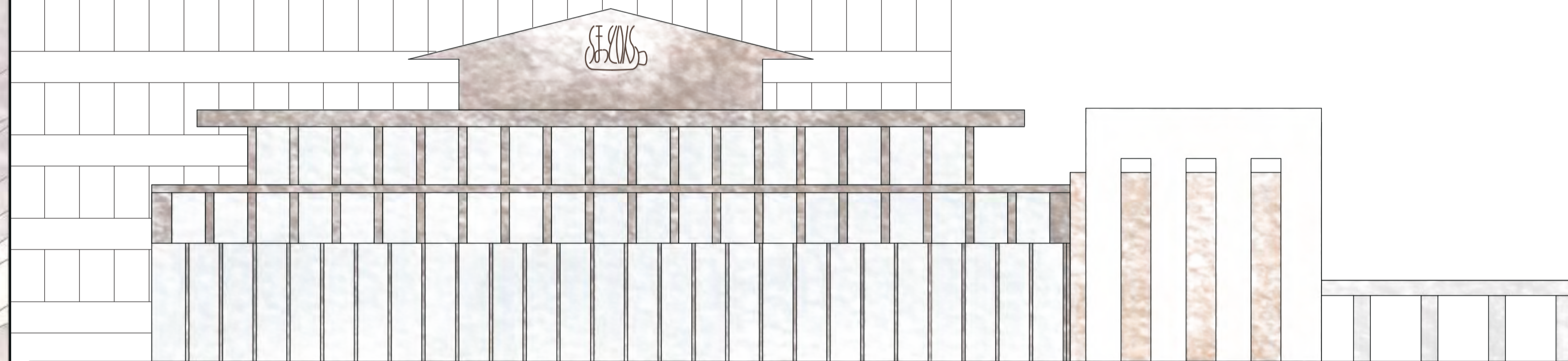


南東立面図 1/200

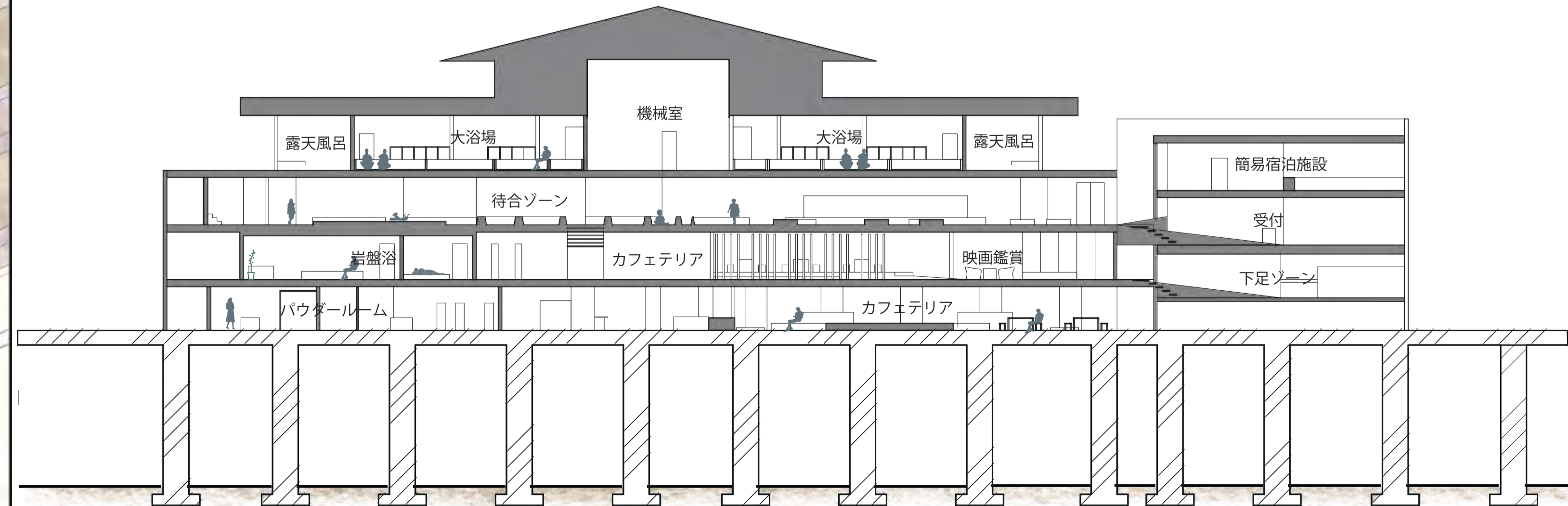


A-A' 断面図 1/200

3000
3000
3400
3000
3000
27400
800
2400
8200
600

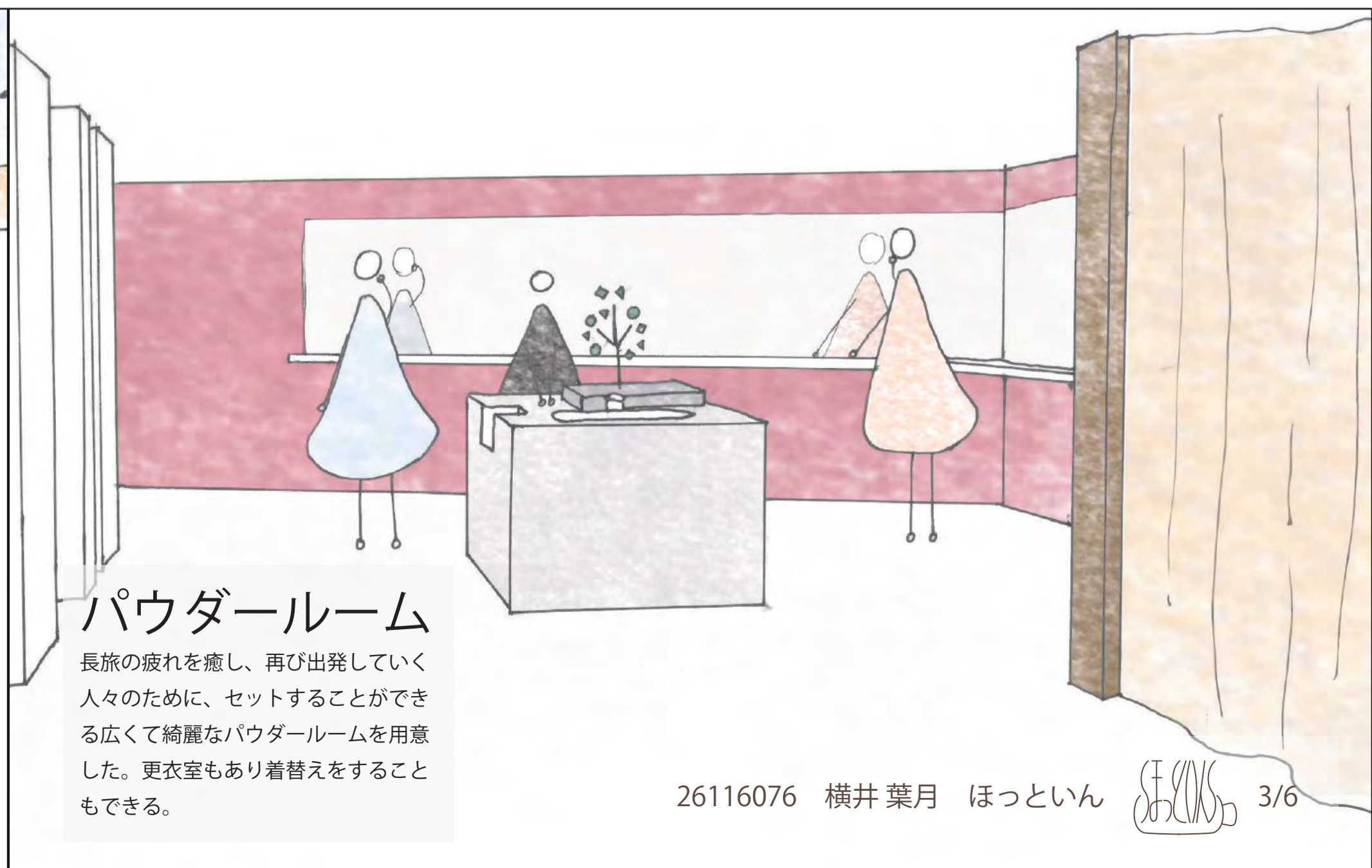
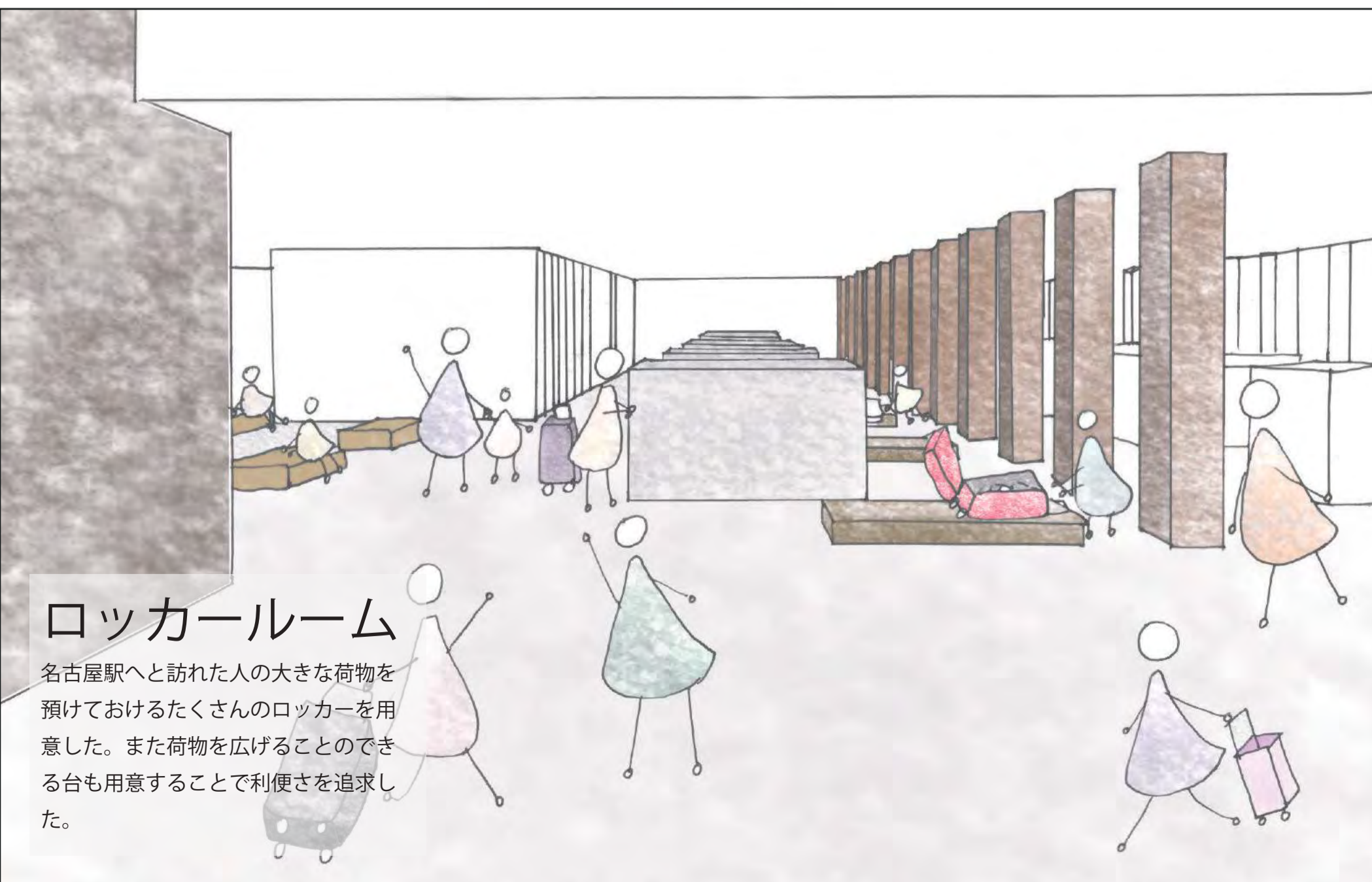
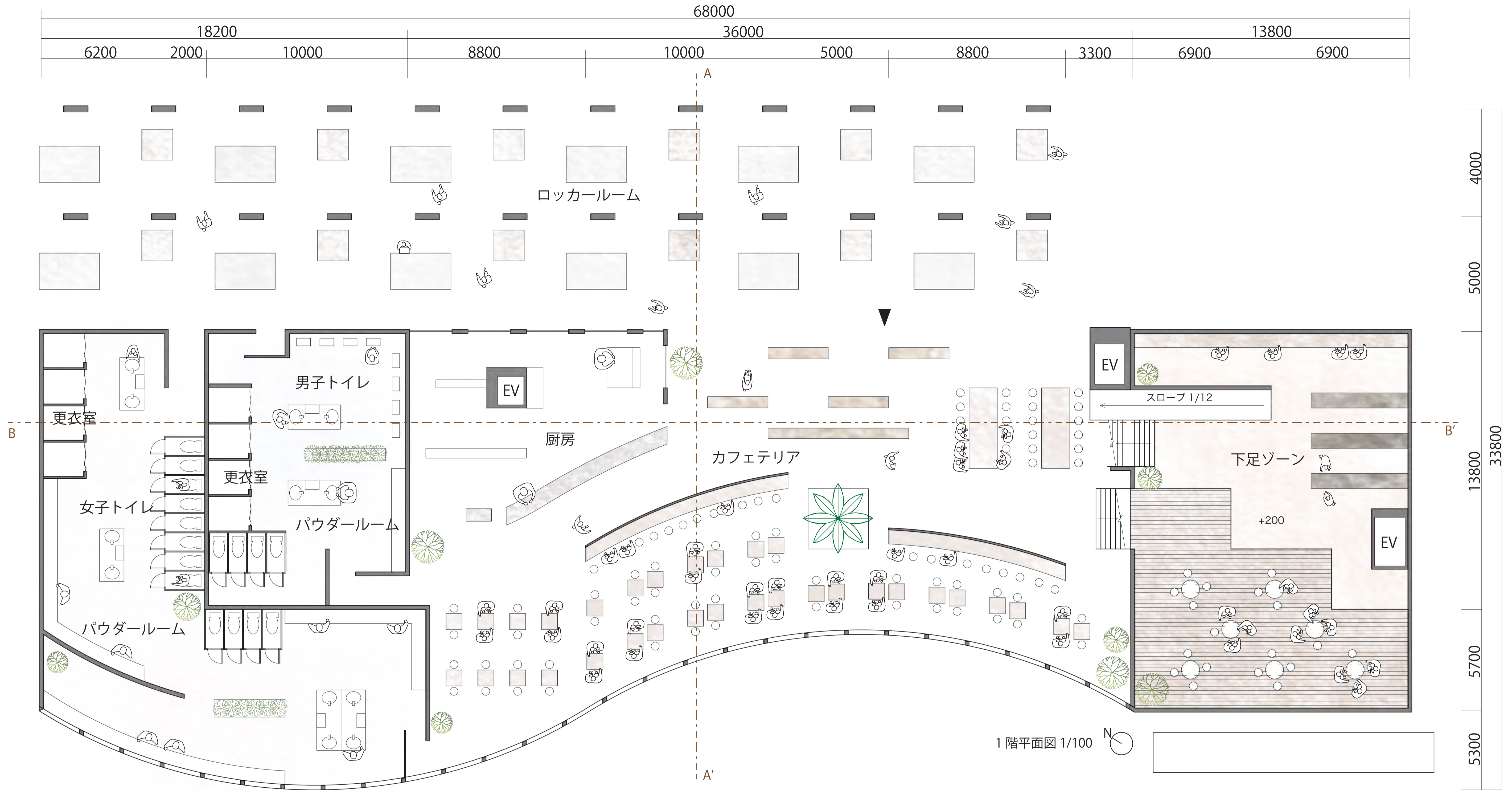


南西立面図 1/200



B-B' 断面図 1/200

3000
3000
3400
3000
3000
27400
800
2400
8200
600



68000									
17000		13000		24200		13800			
7400	7300	2300	5100	2000	6000	13200	11000	9900	3900

